

京都水族館

昨年3月にオープンした京都水族館。海のない京都市にできた水族館には、定番の生き物の他にも独特の川文化を持つ京都ならではの生き物がたくさんいます。展示にはたくさんのメッセージが込められており、さまざまな楽しみ方ができるでしょう。今回は一部の展示を紹介するとともに、スタッフの方々に伺った京都水族館の魅力を集めます！
(あずる&明日)

京の川ゾーン

京大生になじみ深い鴨川をモチーフとした水槽。その中で暮らすオオサンショウウオは、「生きた化石」とも「世界最大級の両生類」とも呼ばれています。つぶらな目や小さい手が愛らしいオオサンショウウオですが、鴨川で生じている外来種との交雑問題により、在来種の数が増減してしまいました。京都水族館では単なる展示にとどまらず、その現状も伝えています。



かいじゅうゾーン

オットセイの水槽には人が入れる穴があり、中に入るとまるでオットセイと一緒に海の中にいるかのよう。また縦に伸びたチューブ状の水槽はアザラシの水槽とつながっており、かわいいアザラシの姿を間近で見ることができます。



山紫水明ゾーン

絶滅の恐れのある生き物を掲載した「レッドデータブック」。そこに収められている京都に棲む水の生き物を中心とした展示です。希少生物を取り巻く京都の歴史と水にまつわる文化を、複数のテーマに分けて紹介しています。小さくて外見は派手ではありませんが、京都に昔から棲む大切な生き物たち。その現状を伝えていくため、京都水族館では保護・繁殖に取り組んでいます。



京の海

サケやズワイガニなど、京都の食文化に根付いた魚たち。その生きた姿を観察することで、生き物と私たち人間とのつながりを感じられる展示となっています。時期によっては、その季節の旬の魚を展示していることも。



イルカパフォーマンス

遠くに東寺が望めるなど、見える景色にまでこだわったイルカスタジアム。そこで行われるのは、ボールなどを使う派手な内容ではありません。観客にイルカについて知ってもらうことを一番の目的とした、イルカの行動や身体の様子を紹介するパフォーマンスです。スタジアムは常に開放されており、トレーニングの様子が見られることも。



大水槽

約500 t もの水量を誇る大水槽には日本の海が丸ごと再現されており、ホシエイやアオウミガメなどが見られます。また水槽は1・2F吹き抜けに設置され、洞窟や魚眼レンズなどの仕掛けもありさまざまな視点から楽しめます。



ペンギンゾーン

1Fの水槽の中では、ペンギンたちが飛ぶように泳いでいます。2Fに上がり外に出ると、今度は陸上でくつろぐ愛くるしい姿でお出迎え。今なら、京都水族館で産まれた子どものペンギンも見ることができます。



イルカトレーナーさんにインタビュー

—イルカパフォーマンスで気をつけていることは？

「現状よりもステップアップしよう」というメッセージを常にイルカたちに伝えられるよう、心がけています。また「お客様にイルカのことを知ってもらう」ということを大切にしているので、一つ一つの動きをわかりやすくするようにしています。

—イルカトレーナーをやっていると良かったと思うときは？

イルカと上手にコミュニケーションがとれると、やはり喜びがあります。できなかったことができるようになったときは、イルカたちもがんばってくれたということなのでなおさらです。でも、何よりもイルカたちが毎日元気でいてくれることに幸せを感じます。

水族館スタッフから

🐬 京都にある水族館として

京都水族館では、「水と共につながる、いのち。」というコンセプトのもと、京都というフィールドを最大限に活かした展示を心がけています。京都駅から徒歩約15分という市街地にありながら、寺院や山々が望めるという京都ならではのロケーションの中で、生き物たちと触れ合うことができます。三方を山に囲まれた京都盆地は、近くに海がありません。しかし京都には古くから山々がもたらす川の恵みがあり、今でも豊かな河川や里山が私たちの身近にあります。このような土地ならではの**水にまつわる文化を伝えているのが、京都水族館の大きな特徴**です。

🐬 設備のこだわり

京都水族館は内陸にあり、天然の海水を使うと輸送の際に多くのCO₂を発生させてしまうため、**人工海水を使用しています**。すべての海水を人工海水にした水族館は、**京都水族館が日本初**です。人工海水は水質を一定に保つのが容易なため、生き物にも優しいとされています。またこれまでのろ過装置では多くの水を交換する必要があったのですが、京都水族館では最新のろ過システムの導入により、少量の交換で済むようになりました。さらにエコな取り組みとして、建物に太陽光発電システムやミスト空調を利用しています。このような**最新の技術も、京都水族館を支えています**。

🐬 展示の工夫

京都水族館の魅力の一つ、**生き物との距離の近さ**。これはさまざまな工夫によって実現されています。たとえば水槽によってはガラスが目線の高さよりも低いため、ガラス越しではなく直接生き物を見ることができます。さらにアクリルガラスはほとんど存在を感じさせないため、まるで実際に海の中のように視界がクリアです。また水族館のポリシーである「**遊びながら学ぶ**」という**言葉「エデュテインメント」**を実現するため、実際に生き物に触れられるゾーン「磯の教室」や工作ができるワークショップなどの体験プログラムを用意しています。

..... INFORMATION



営業時間：9:00～17:00（入場受付は16:00まで）
休館日：無休（臨時休業あり）
入場料金：大人2,000円（年間パスポート4,000円）
所在地：京都市下京区観喜寺町35-1（梅小路公園内）
TEL：075-354-3130
アクセス：土日は京都駅発のシャトルバスあり